
らくがきノート

とよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

らくがきノート

【コード】

N3076Z

【作者名】

とーよー

【あらすじ】

とーよーのらくがきノート

〈ハムスター〉

今まで合計5、6匹飼った。もう、全員死んでいる。天国で俺を応援していると思う。

あれは、非常にカワイイ。

毎回、口の中に入れていた。カワイ過ぎると、口の中に入れてなくなる。

口から出すと、また、カワイイ顔をしている。

また、口に入れる。

アクビをしているのがカワイイし、ひまわりの種を、沢山口の中に入れて、自分の好きな所に持って行くのがカワイイ。

しかし、死んだ時が可哀想なので、動物は飼わない様になっている。

しかし、ハムスターはカワイイのである。

〈映画〉

映画を撮りたい。

ホラーが良いと思っている。世にキミヨ的な、短い話を沢山入れるパターンで攻めたててやろうと思っている。全10話からおりだす、不条理にも、恐ろしい話をやっつけてやろうと思っている。

ただ、オバケは全部俺がやろうと思っている。1話だけ俺が主演なので、その時はお母さんがオバケをやればいいと思っている。

お母さんは良いヤツなので、きっと参加してくれると思う。

台本は俺が書く。

「ハイ！カット！」の（カチン！）のヤツも俺がやりたい。

でも、俺が出るシーンの時は（カチン）と、やって、すぐに自分の位置にスタンバラなくてはいけないので、忙しいと思う。

主題歌は俺が唄う。

2番まで唄おうと思っている。ハーモニカのソロも入れたい。

映画を撮りたい。

でも、色々、大変である様には思った。

小説とは、なんと楽なものだろう。カメラも、機材も、人件費も、場所代もいらぬどころか、家から1歩も出る必要もなく、1人で、家で、自分の部屋で、作る事が出来るのだから。

ミスツても役者に注意をする必要もなければ、撮り直しで、無駄な時間を掛ける必要もない。

消去ボタンで、いくらでもストーリーは変更可能である。

しかし、映画は撮ってみたい。とーよー映画を世界に知らしめたい。早く、世界のとーよーになりたい。

でも、英語はハローとかしか分からないので、とりあえずは日本語で頑張ってみようとは思っている。

〈SMAP〉

スマップに入ろうと思っている。

ただ、ビストロの時、チーム人数が、3対2になってしまったので、そこを悩んではいる。

まさか、ナカイ君と一緒に司会をするわけにはいかないが、キムラ君、カトリ君、トーヨー君チームに、クサナギ君、イナガキ君ペアーが勝てるわけではないので、まだ、そっちの方がいいかなー等とは思ったりしている。

昔はスマップのメンバーはもう1人居たが、レーサーになってしまったので、ソロソロその穴を誰かが埋めなければいけないわけで、それなら、まあまあ顔がカッコイイ方の俺がという気持ちで、一筆書かせて頂いている。

ナカイ君の司会業や、キムラ君のドラマ、クサナギ君のジーンズなど、それぞれの個性をかき消さず、また、自分自信もこれまでのスマップをさらに良い形へと導いてゆけたら、これに勝る喜びはない。

やはり、これからのアイドルは、歌やダンスだけではなく、バラエティーなどでも、ドンドン、自分を前に出してゆかなければならぬいわけで、そこで勝ち上がったジャーニーズ最強チームSMAPだからこそ、後から加わる者としては幾分かのプレッシャーを感じている。

無論、世代的には、嵐や、K A T - T U Nに入った方が自然なのだろうが、それは難しい様に思った。

嵐は非常に仲が良い。ジャーニーズメンバー特有の、ギスギス感が無い。が、しかし、逆に、あれだけ、チームワークの出来上がったメンバー内に加わるのは難しく、溶け込んでいけるかが不安である。

そこら辺は、サクライ君や、ニノミヤ君が、フォローしてくれるかもしれないが、マツジュンと喧嘩にならないかが不安であり、アイバ君が「やめろよー」等と言って、間に入ってくれば助かるが、オオノ君は何も言ってくれない様な気がする。

でも、それは、逆に、俺がメンバーに入る時も「まあ、べつに、いいんじゃない」くらいの感じで認めてくれそうであって、そこを考えると、嵐が良い様には思えるが、やはり、あの、完成されたメンバー内に食い込んでいくのは難しそうであり、それならK A T - T U Nはいかがなものか。 と、考えてみよう。

…うん。

これは、いいかもしれない。

スマップのメンバーがレーサーになります事件同様、K A T - T U Nはアカニシ君の穴を埋めるという意味でも、協力出来る様には思った。

ただ、アレだけのイケメンメンバーに入ってみるのは、いかがなものだろうか？

ハードルが高い。
俺の旨味が無い。

こうなったら、タッキー&ツバサ&トーヨーにしてみましたも良いが、それなら、キンキキッズ2にし、堂本とーよーになった方が楽しそうだし、TOKIOのハーモニカ担当をしても良いし、思い切ってV7にしてみましたも良い。

どこにでも、食い込んでいけるスペースはあるが、とりあえずSM APに入ろうと思っている。

《メモリカード世代》

ゲームは好きである。

一時期はファミコン、スーパーファミ、ロクヨン、DS、PSPに、プレステ1、2と、メジャー所はすべて揃えていた。

メモリーカードの開発によって、今でこそ、セーブが消えてしまうといった最悪極まりない事故は、ほぼ壊滅状態となったが、俺がガキの頃なんてのは、そりゃー、ドラクエの差し込まれたスーパーファミ本体を、恐る恐る動かしていた世代であって、協会で「ゲームをやる【】を選び、リセットを押しながら、ゆっくりスイッチを切っていた世代であって、近くでお母さんが掃除機を掛ければ、コンセント問題が気になった世代であって、1発で機能しなかった後の、カセット内部への息の吹き掛け後のドラクエのスイッチングのドキドキ感や、あの、最悪のセーブが消えましたよメモディー、または、それさえも無く【ぼうけんのしょうをつくる】しか表示されなかった時の、あの放心状態…その後…数日は、ドラクエの話題にすら、触れたくないといった疎外感など、セーブの大切さを何1つ分かったやいないな今の小、中、学生、すなわち、メモリーカード世代!…なんてのは、そりゃー、俺達スーパーファミ恐る恐る世代からすれば気軽だと考えられても致し方ないわけである。

PS2、もしくは3を、プレイ中に、少し邪魔だなくらいのワガママな理由で、縦にしたり、横にしたり、挙げ句の果てには、DV

Dデッキに乗せてみたりと、俺達の時代には考えられなかった事である。

有り難さを噛み締める。

感謝の気持ちを忘れるな。

そして、バカにするのもいい加減にしておけ。

モンハンや、鉄拳のグラフィックを当たり前だと思うな。

変にリアルを追及し出した頃の、プレステ1辺りの、不自然なカクカク感や、初期のバイオバザードが下手なヤツがプレイした場合いの、壁に沿った変な動きを知っているのか！

リアルなグラフィティーに、細かい開発が追い付いていない頃の、体が半分壁にのめり込んだ日々を経験していないだろ！！

ゲームボーイの1番初めの、白くて、大きいヤツを、バカにするな
！！！！

パスワードをノートに書く努力を知らない輩に知った様な口を聞かれてたまるか！！！！

古い人間だと言われても仕方がないが、個人的にはwiiをゲームだとは認めてはいない。

あーいった、自分の動きをリアルに体感出来るといった様な、余計なシステムは認めるわけにはいかない。

コントローラーが縦でも、横でも、さらには持つても使えるといった様な、余計な部分でのバリエーションをひけらかすな。

任天堂はマリオにばかり頼るな！ゴルフやレース、はたまた！テニスなどをさせるな！

あいつは、横スクロールで、キノコや金を取りながら、時間に追われ、右へ右へと進んでゆくのが基本であって、決して、プロペラで飛ぶ様なヤツでは無かった。

任天堂もそうだが、メモリーカード世代に向けてこれだけは書いておく。

インベーダーからやり直せ。話は以上である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3076z/>

らくがきノート

2011年12月11日02時54分発行